

鮎の塩焼きに舌鼓

第1回川内川鮎まつり

6月3日、川内川漁業協同組合主催による「第1回鮎まつり」が、湯田の川内川河川敷イベント広場で行われました。

当日は好天にも恵まれ、予想を超える来場者がありました。

特に、2,000匹準備された「鮎の塩焼き」には1匹50円ということもあり、長蛇の列ができました。また、鯉こくの無料配付や外来魚試食コーナーも親子連れに人気で、会場に準備された「川の生き物水族館」にも多くの見学者がありました。

イベントの終わりには「うなぎのつかみ取り」があり、多くの子どもたちが全身水に濡れながら大きな歓声をあげていました。



長蛇の列ができた鮎の塩焼き

青少年健全育成など評価され
各種表彰を受賞



青少年育成県民会議表彰を受賞した栗山善太郎さん

鹿児島県青少年育成県民会議にて、栗山善太郎さん（浅井野公民会）が青少年育成県民会議表彰を、鹿児島県子ども会育成連絡協議会総会にて、永野区子ども会育成会（優良育成団体）が鹿児島県優良育成団体表彰を受賞されました。

これは、地域や子ども会でも永年にわたり実施してきた活動が青少年の健全育成又は、地域の活性化に大きく貢献されていることが高く評価され、今回の受賞となったものです。

今後とも益々のご活躍を期待致します。

永野どろんどろん運動会

6月9日、永野小学校学習農園田んぼで、永野どろんどろん運動会が行われました。

当日は、天候にも恵まれ、子どもたちは、むかで競争をしたり、ドッジボールをしたりと田んぼの中で大はしゃぎでした。

どろんどろん運動会に参加した上別府春奈さん（6年生）は、「初めて田んぼでみんなと遊んだ。校庭で遊ぶのより楽しい」と話し、新地竜也くん（5年生）は「泥んこになっただけで、気持ちいい」と普段はなかなか体験できない運動会を楽しみました。



田んぼの中で、竹ひきを楽しむ子どもたち



自主防災研修会の様子

地域を守るため
自主防災研修会

6月14日、宮之城ひまわり館で、公民館長や公民会長、自主防災組織のリーダーを対象とした自主防災研修会が行われました。

井上町長は「昨年の豪雨災害の教訓を生かし、地域を守る体制をしっかりと整える必要がある。自助・共助・公助とそれぞれの役割を認識し、地域を守ることが大切」とあいさつされました。

三角交通防災係長は、自主防災組織の必要性や町内の自主防災組織の組織率などを説明され、自主防災組織の結成と定期的な活動を求めました。

参加者の中からは、公民会未加入者への対応や災害弱者への支援などについて質問もありました。